

# なごみ

第 208 号  
2019年7月1日 発行  
編集・発行  
和東町人権啓発課  
(人権ふれあいセンター内)  
TEL 0774-78-3488  
FAX 0774-78-3212

## ユニバーサル社会を 目指して

2020年には「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されます。文化の違いや、障がいの有無など、多様な選手や観戦者が世界中から訪れることでしょう。

大会開催にあたり、ユニバーサルデザイン2020行動計画というものが策定されています。これは、あらゆる人との共生社会の実現を目指した計

画です。国民の意識や行動に働きかける「心のバリアフリー」と、街をユニバーサルデザイン化する「街づくり」が目的とされています。

ユニバーサルデザインとは、障がいの有無に関わらず、全ての人が安心して安心して、利用しやすいように、

# UD

Universal Design  
ユニバーサルデザイン

製品や環境  
サービス  
工夫し、快適  
に過ごせる  
社会にして

いじりついでものです。

今、私たちの生活の中には多くのユニバーサルデザインの製品があります。自動ドア、多目的トイレ、車いすや左利きの人、使いやすい自動販売機など、それとは知らずに利用しているものも多くあります。

大会を控えた街づくりでは、障がいのある人や、高齢者が利用しやすいように、施設や交通機関など、街のバリアフリー化を見直す動きも始まりました。

心のバリアフリーでは、障がいのある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であることを理解し、自分とは異なる多

様な他者と「コミュニケーションをとる力を養い、全ての人が抱える困難や痛みを想像し、共感する力を培うこと」を目指していきます。

2020年を機に、互いの違いを認め、全ての人が生きやすいユニバーサル社会に向けて歩んでいけたら良いですね。



目指すべき  
ユニバーサル社会



# みんなで築こう 人権のまちづくり

## バリアフリーからユニバーサルデザインへ

高齢者や障がいのある人などが自立し、社会参加する為には、いろいろなバリアが存在しています。バリアフリーとは、そういったことを取り除く考え方です。

また、近年では、最初からできるだけ多くの人々が利用できるように計画・設計をするユニバーサルデザインという、考え方が主流になってきています。

**バリアフリー**  
すでに存在する障がいを取り除く

**ユニバーサルデザイン**  
はじめから障がいをつくらない



高齢者や障がいのある人が利用しやすくなる

誰もが利用しやすくなる



## 身近なユニバーサルデザイン

- スロープ
- シャワートイレ
- シャンプー・リンスのボトル
- 幅の広い改札口
- ノンステップバス
- 標識(ピクトグラム)
- 文具具
- 車いすに乗りながら購入できる自動販売機

また、ユニバーサルデザインの考え方を、物や街など、ハード面だけでなく、人の意識や情報、社会参加の仕組みにも取り入れ、ユニバーサル社会づくりが進んでいます。



### 人権問題でお困りの方

法務大臣から委嘱された人権擁護委員さんが相談に応じます。相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談下さい。

### 7月の相談日

● 月日：7月26日(金)

● 時間：午後1時30分から4時まで

● 場所：人権ふれあいセンター

また、人権啓発課(人権ふれあいセンター内)でも人権に関わる相談を随時行っておりますので、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先

和東町人権啓発課

(人権ふれあいセンター)

TEL 78-34888

FAX 78-32212